

広聴特別委員会記録

令和6年6月21日

【開催日】 令和6年6月21日(金)

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後4時12分

【出席委員】

委員長	森山 喜久	副委員長	前田 浩司
委員	奥 良秀	委員	白井 健一郎
委員	中島 好人	委員	藤岡 修美
委員	宮本 政志		

【欠席委員】

なし

【事務局出席者】

事務局長	石田 隆	事務局参事	河口 修司
------	------	-------	-------

【審査内容】

1 議会カフェについて

(1) 経過

- ア) コロナ前～ 報告会の開催
- イ) コロナ禍～ 報告用動画での配信
- ウ) 現在 ～ 報告用動画での配信＋報告会の開催及び動画報告

(2) 今後の在り方

- ア) 今後の報告会の開催
- イ) 報告用動画での配信

(3) 次回の6月議会の議会カフェの開催日・開催場所

(4) 議会カフェでの質問に対する回答

(5) 3月議会の議会カフェの報告書

2 議会モニターについて

(1) 議会モニターの団体からの選出委員について

(2) モニター意見交換会について

3 その他

森山喜久委員長 ただいまから広聴特別委員会を開会いたします。付議事項につきまして、1、議会カフェについてと掲載しています。今までの議会カフェの経過としてコロナ禍前については報告会を開催し、コロナ禍中では報告用動画での配信を行ってまいりました。そして、現在は報告用動画での配信及び議会報告会の開催となっております。参考としまして、今の山陽小野田市議会基本条例では開催数は年2回以上、要綱においては、「原則毎定例会後及び、必要に応じて」です。そして、「原則6か所」となっております。現状におきましては、毎定例会後、そして4か所という形で行ってまいっております。前回の委員会で、カフェの在り方を含めてきちんと協議したほうがいいということがありましたので、(2)になります。「今後の在り方」として、今後の議会報告会の開催について議論をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。前回、7月の30日、31日で4か所という話もありましたが、また皆さんのほうで様々な意見があると思っておりますので、今後の議会報告会をどのような形にしていくべきなのかという御意見を頂けたらと思っております。皆さんから何か御意見はありますか。

中島好人委員 議会報告会そのものについて、このたびの6月議会では委員会としての議案は産業建設常任委員会の1件で、住民との関係から言えば、直接市民に関わりのある議案ではないですよね。それを従来どおり動画化して、これを説明するという方向が果たしていいのか。議会報告会で報告した後、参加した市民からいろんな要望とか意見とか、そういうものが大事だとは思っています。在り方そのものも、議会報告会じゃなくて、市民の声を聞く会みたいになるんじゃないかなと感じがしてあります。何かいい方法がないかな、6月議会の報告はどうなるんだろうと考えたときに、そんなことが浮かんだんです。また考えますけど、これっていうものはないという率直な思いを発言しました。

森山喜久委員長 中島委員から発言がありましたが、それを含めて、皆さん方の御意見はどうでしょうか。

藤岡修美委員 確かに報告会だと、定例会ごとで、今回は少ないし、テーマを山陽小野田市にとって、これっていう何がしかのテーマを提示して、そのテーマを報告会じゃなくて、市民懇談会になるのかも分からないが、あるテーマ、課題について来ていただいた市民と話し合うという。それは広聴特別委員会の性質のほうが強いかな。報告っていうよりも皆さんのある程度テーマ、山陽小野田市の課題について意見交換する場みたいなもののほうが、人が来やすいとか関心持って来ていただけるような気がするんですけど、そういうのもあっていいかなと思います。

森山喜久委員長 テーマを決めて開催してはどうかという御意見だと思いますが、その辺を含めて皆さん方の意見はどうでしょう。

奥良秀委員 テーマを決めてということになると、本来の議会報告会の形を少し柔軟にというか、形を変えていかななくてはいけないようになるのかなと思っています。以前の議会報告会の「その他の意見」の中で高泊であったときに、自治会長が出席したほうがいいんじゃないかっていう御意見もあったと思うんです。自治会長だけではなくて、いろんな団体とか、子育て世代とか、そういった人たちを呼べる場所もつくって、広聴特別委員会として意見を吸い上げて、議会に取り込んでいくっていうのも一つのいい考えだとは思いますが、今、制度的には議会報告会を毎定例会ごとにするようになっていますので、その辺をどのように考えていくのかなというところは難しいところかなと思います。

森山喜久委員長 今、テーマ決めてやるということと、自治会長、もしくは各種団体もしくは対象者を絞って呼んでいくという方策も含めて、意見が出ました。ほかに皆さんのほうからこういうやり方もあるんじゃないかっていう御意見があれば、お願いします。

白井健一郎委員 今の皆さんの意見も踏まえての発言なんですけど、今、山陽小野田市議会基本条例を改めて見ました。すると、議会報告会というのは、第6章の説明責任を果たす議会のところに載っています。もう一つは、第5章に市民とともに行動する議会という章に市民懇談会っていうのは載ってます。皆さんが今おっしゃられたのは、かなり市民懇談会に近いです。議会の議員と市民が自由に、率直に意見を交換するのが市民懇談会です。もちろん私はこれにも賛成するんですけども、説明責任を果たす議会っていうことをどうするのか、やっぱりこのことは必要ではないかと思うんですよね。

森山喜久委員長 それでその後何かありますか。

白井健一郎委員 だから、議会基本条例に忠実に考えるならば、これが現在生きているわけですから、一番の根本原則として、説明責任を果たす議会として議会報告会はやらなくちゃいけないだと思います。

森山喜久委員長 今、そういう意見もありました。皆さんから意見はどうでしょうか。

宮本政志委員 委員長、もう少し詰めたような運び方をしないと。白井委員が言われたところに入っていく。「年2回以上は議会報告会をなさい」でしょ。議会報告会をしないとイケんのよ。その報告をしないとイケないのに、「その報告の場で報告以外のことをやっていきましょう」なんて話をするのは、おかしい話です。だから年2回、議会報告会をまずやる。要綱のほうは「原則毎定例会後」、「現状は定例会ごとにやっています。」って言うところがまず前提よね。6月定例会の議会報告会を通常どおりやっていくのか。年2回報告会をやればいいんだから、少し趣向を変えてやっていくのか。やっていくにはどのようなことをしたらいいのかというふうな議論に入っていくかと。今後の議会報告会の開催ということ考えたときには、「報告を抜きにしてやりましょう」、「こ

れをやりましょう」ということになるのと、今、白井委員が言う原則から外れてくるんじゃないですか。条例では年2回以上が年にゼロ回になる可能性もあるんで。その辺りを少し論点整理して進めていかんと。怪しい方向に行くと思うけどね。

森山喜久委員長 確かに、議会報告会は条例には年2回以上と書いてあるので、こちらについては既定路線ということです。今、要綱では毎定例会後、そして現状は毎定例会ごとに行っている。このたびの6月議会を含めてどうするかということになるかと思います。

宮本政志委員 議会報告会を年2回やればいいんだったら、この間も意見が出たけど、「3月、9月の予算、決算のときはしっかり議会報告会を従来どおりにやりましょう。あとの2回に関してはその議会報告会ということのを頭から外してやっていきましようか」というのは、別に要綱から外れるけど条例違反にはなっていない。それと、気をつけないといけないのが、市民の方に興味の薄いだらう議案しかなかったから報告はしなくてええじゃろという議論は物すごく粗いと思う。その委員会が、議案が市民に対して少しどうかなあと考えたときには、市民の方に報告する内容は委員会が考えればいいことで、少しその辺りを注意しながら進めていく。私は要綱に従って、また同じように、しかも同じ場所を繰り返すってことよりは、6月定例会はこの間、多くの委員の皆さんも僕もそうやけど、がらっと場所を変えるなり、手法を云々とかっていうことを考えればいいんじゃないかなと思うんです。でも議会報告をやはりするべきかなと思ってます。

中島好人委員 別に、その議案だけに限らず、閉会中の審査等もあるんで、各常任委員会の中で今どういう問題が出ているっていうことも、議会の中の取組にもなるかなって。従来どおり何がなんでもその議案にこだわる必要はないかなというように感じました。

森山喜久委員長 議案にこだわらずに、その課題を抽出する中で報告会をしていくというふうなことでよろしいですかね。(うなづく者あり)そういう意見がありました、皆さんどうでしょうか。

奥良秀委員 ということは、仮に6月定例会の場合で3常任委員会において、議案を上げる委員会は議案を上げる委員会、議案は上げないけど、その他のものを上げる委員会もあっていいという感じでよろしいですかね。

宮本政志委員 議案はやはり、どういう審査をしたかっていうのは必要と思う。議案以外で例えば、産業建設常任委員会はどういったことを報告したいなっていうことがあれば、時間については動画の関係もあるから、考慮せんにゃいけないけど、議案に縛られんでいいんじゃないんですかって。でも、議案は審査したんだから、報告をする義務があるよねって言ったんです。

奥良秀委員 今、宮本委員が言われるのは、要は議案はやらなくちゃいけないけど、議案に縛られることはないよと。両極端なことを言われたんやけど。

森山喜久委員長 今回で言えば6月定例会だけじゃなくて5月臨時会もあったので、5月臨時会での議案の中で、総務文教は定額減税の関係があったと思うし、民生福祉では給付金の議案もあったので、そちらのほうも検討の題材にはなると認識しています。ですので、5月臨時会と6月定例会を含めて、このたびのところに入っていくのかなというところで、また皆さんからほかに御意見はありましようか。

白井健一郎委員 先ほどから皆さんの意見を聞いてて、大体賛成です。先ほど議会報告会と市民懇談会は、議会基本条例上分かれていると。片方は説明責任を果たす議会、片方は市民とともに行動する議会であって、これがもちろん重なりはあるんだけど一応分かれています、別々の役割をそれ

ぞれ持っている。だから、先ほどから皆さんが言っていることをまとめるなら、市民懇談会をやってもいいんじゃないかと聞こえるんです。これが広聴特別委員会で担当するのかどうかはともかく、これを発案するのも一つの案だし、議会報告会は議会報告会で、先ほどから出ている問題、つまりその議案に限られるのかどうかということとは別に、最初にやってきたように、議会報告会の中で、市民懇談会のようなことをしているのを外して、完全に分けて分かりやすくしていくというのも一つの案だと思います。

宮本政志委員 その前に、その議案審査は報告すべきと思う。ただ、議案審査のみでやろうと思って、動画を7分で作ってくれって言うから、市民の方があんまり興味がなくても議案が一つしかないから、「しようがない、これで7分つくるか」っていうことで、不評につながる。だけど、議会報告ですから、議案に対して、さしたる質疑もありませんでした。採決の結果、全員賛成で可決しましたって言ったら、1分で終わるかもしれない。別に、先ほど中島委員が言われるように、前回の議会報告会以降で常任委員会が何かをやったかっていうのを取り上げようというのは、各常任委員会に任せればいい。そこを決めていかなきゃいけない。それで、今、白井委員が言われるのは、この議会報告会というのはそもそも市民から意見を聞く場ではないわけよ。あくまでも議会報告の会だから、今までの流れでは、広聴特別委員会が議会報告会も担当し、広聴特別委員会は広く市民からの意見を聴取するという目的を持つ特別委員会なので、議会報告会に市民の方がたくさん集まってもらえているんなら、市民の方の意見をいろいろ聞きましょうと。あるいは、議会報告だけで終わってしまって、市民の方からの意見を一切聞く場ではございませんとすると、参加者も増えないから、今一緒にやりよるっていうだけ。それと別に市民の方から意見を聞く方法としたら、議会モニター制度もあり、市民懇談会もあるんやから、今、白井委員が言われるように、議会報告会の中で、市民からの意見を聞くというスタンスの報告会もある。それとは別に市民懇談会ということでもっと方法を駆使して、市民から

広く意見を聞いていこうかっていうところも交えて一つ一つ進めていったほうがいい。でも、まずは議会報告会のほうですね。

森山喜久委員長　まず議会報告会をどうするか。差し当たっては、今回どうするかを確認していきたいと思います。ただ、今お聞きした状況で言えば、議会報告会は開催していく方向性なのかなという認識をしておりますが、そちらで皆さんよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）あと、その内容です。今、言われたように、議案の審査報告のみに限定せずに、それぞれの常任委員会での課題、視察報告や閉会中の審査状況等そういったところも取り上げながら、報告会の報告用動画も含めて形成していく意見だったと思いますが、その辺でよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）では、今後の在り方については、6月議会の報告会については開催していくということ、そして報告動画での配信も行うということ、内容として、議案審査に縛られずに行うという形でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、今後の6月議会の報告会をするということで、まず決定したいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、報告会を実施するという事で決定いたしました。そして、報告用動画については議案審査の報告に縛られずに、各委員会での課題とか、審査事項のほうを取り上げる中で報告用動画を作成していくということでもよろしいでしょうか。

奥良秀委員　あと動画の時間ですが、議案の審査時間で考えると大体5分かそのぐらいで決めたんですけど、閉会中審査とか、所管事務調査等々でもっと詳しくいろいろな意見を聴取するというか、質疑をされたものがあるのであれば、この時間に縛られなくてもいいのかなあとは思いますが、その辺のお考えがあれば教えていただきたいと思います。

森山喜久委員長　今までだったら5分程度という話もあります。その辺で皆さん方の御意見は、どうでしょうか。一つの目安としての5分という形で、それは少し延長しても仕方がないという理解で、どうしても作成する上

では、ちょっと長くなったりすると大変な面はあると思いますが、その辺どうでしょうか。

中島好人委員　あまり長くしても、市民は報告を聞こうと思って来るんじゃないかと、何かしゃべろうとして来ている。長いといらいらするんじゃないかと思う。従来どおり5分でいいんじゃないかなあとと思いますけどね。そういうことから長くしなくても、5分でいいと思う。

宮本政志委員　さっき、奥委員が言われたことは大事だ。ある委員会はそのごく報告したいことがあって、三つも四つもあると。ある委員会は一つしかない。それを同じように5分で振り分けるっていうことに関しての疑問というのを奥委員が言われる。それはごもつともと思う。でも中島委員が言われるのもごもつともで、5分に縛られないようにしたら、全部が7分、8分をつくったら、確かに全体的に無意味に長くなる可能性もある。だから、そこは各常任委員会がやはり5分程度と決まっているから、それを原則としてやっていくと。だけど、ある委員会は、どうしてもこのたびはこういったことを市民の方に報告したい。つくったら8分になったと。でも、ある委員会は、これ5分をつくったけど、これ3分とか2分半縮められないかということで、その辺りは森山委員長のほうで、各常任委員会の委員長とすり合わせして。でもトータルで、中島委員が言うのは大事で、15分程度が30分になったら、見る市民の方は疲れるっていうところを踏まえて、森山委員長が調整していけば、原則は5分ということで、そうすると奥委員が言われるように仮に民生福祉委員会が、もしこれこれやりたいで8分、産業建設委員会が5分やったけど2分で済んだっていうたら、トータルはうまいこと収まるんよね。

森山喜久委員長　それでは、今言われた意見に、ほかの方はどうでしょうか。

奥良秀委員　アンケート等々の集計の話になってしまうんですけど、動画が見

にくいとか、効果的なものになっているのか、なっていないのかと、つくり手が悪いのかって話になっていくんですけど。なかなかプロじゃないんで、実際、要はこの（イ）の配信っていうこともどうなのかっていうことも考えていただきたいなと思います。ただ、各常任委員長は一生懸命につくっていると思いますが、なかなか人気が出てこないし、再生回数も増えてこないの。その辺はどうなのかなというところがありますので、協議していただきたいと思います。

中島好人委員 今すぐ結論を出すというのは難しいかも分かんけど、委員長報告みたいな言葉でってというのものもあるかも分かんけど、やっぱり映像というの、何か目に見えるっていうことも大事だしね。微妙なところ。今すぐこっちがええとかという結論は、ちょっと出しにくいなあっていう感じ。やっぱり目で見るというものも大事だ。だから、今、結論を出さずに保留しながら検討していくことも大事なのかも思いました。今、奥委員が言うのは、もっともなことです。

宮本政志委員 例えば、今度からアンケートで動画のことをもう少し詳細にアンケートを聞いてみるとか。あるいはモニターがいらっしゃるんで、6月定例会について、今後のモニター意見交換会で、例えばこの辺りをどうしたらいいかっていうのを聞いて、我々だけがどう考えても結論が出んところもあるので。いろんなツールを使って、基本的にはこの動画配信って、いいこと始めたと思ってるんで、後退させたらいけないので、そういうところはどんどんツール使って、意見聞いていきましょうよ。

中島好人委員 長内先生が、事前に映像で、前と後と聞いたのを、ビデオで見せたっていうのがあったりもしたんで、やっぱその辺のところも研究しながらしたほうがいいかなあというふうに思いました。

白井健一郎委員 動画配信の内容が満足だったか不満足だったかということに関して、確かに満足72%という数字が出ています。これを見れば大体

の人が満足してるなどはあるんですが、例えば、意見交換会はどうだったかと言ったら、やや満足も含めて満足が90%あります。だから、動画配信で、議会カフェの初めの10分ぐらいのところで、やや不満が多い。この理由をやっぱり分析して考えてみないと。分析のしがいがあると思ってます。

森山喜久委員長 先ほどあったように、例えば、アンケートを取って詳しく聞くとか、モニターに意見を聞くというツールも含めてやってはどうかという話もありましたので、当面、このたびで言えば全体で15分程度の時間帯での動画を作成する。各委員会で原則5分という形でやっていく。ただ、今後についてもそれで終わりじゃなくて、また様々なツールとかでよりよい方向に改善できるように持っていくという意見が出たのかなと思っっています。それ以外に御意見はありますか。

河口議会事務局参事 先ほどの話の中で、「議案にかかわらず」という言葉に引っかかっておりまして、議案があった場合には議案を説明、内容によっては、市民に対して難しい議案だから、違う方向で行くのか。先ほど宮本委員は、「議案は、やはりそれは説明すべき、報告すべきだろう」という意見も言われました。そこで、議案にかかわらずということがどういう意味かを確認していただきたいと思っいます。

森山喜久委員長 私の認識で言わせてもらえば、今までメインの報告用の議案があったのとは別に、その他資料として議案のほうで、別紙で資料を添付させていただいておったので、基本的な報告の資料のほうでできると。ただ、各委員会のほうで報告する内容が議案として薄かったら、課題のもの、もしくは審議中のもの、そういったものを取り上げていくと。ただ、議案の報告をないがしろにするのではなくて、あくまでペーパーで出すと認識しておったんですが、その辺、皆さんはどうでしょうか。

前田浩司副委員長 一応、報告会はやりますと。ただし、今回報告用の動画を

つくる。これは今までどおり、3常任委員会で、持ちタイム5分、計15分。ただし、今、委員長がおっしゃられたように、手持ち資料が別につくってあって、これまでの報告会でそういった資料を使われてないように思えるので、そういった資料を重点的に報告会のために使うっていうのも議案がない委員会については、そういったことをやっていくのも一つの手段ではないかなっていうふうに思います。

宮本政志委員 例えば、産業建設常任委員会は、議案が一つしかございませんでした。何々条例の一部改正についてっていうことで、これを市民の方に報告したところで、分かりにくいし、市民の方はほとんど興味ないだろうなって仮に産業建設常任委員会が思って、これは議会報告会として議案審査はしたけど、動画には入れない。しかし、資料として議会報告会のために配りましょうという考え方も一つよね。それと、さっき私が言ったように、議案というのはきっちり審査をして、その結果を動画に入れて、それが短ければ、残った時間をさっき中島委員が言われたようなことを動画として盛り込んでいこうとかっていうのも、ここで議論して、例えば、産業建設常任委員会の議案が一つで、このたびは資料にして、動画には入れませんでしたと。それ以外のことをやりましたっていうことをやったときに、市民の方から、議会報告会なんだから産業建設常任委員会は、何も議案がなかったのか、審査しなかったのか、あったんなら一応動画で教えてよっていう御意見がモニターから、あるいは会場の方から出てくれば、そうしたら今後どうしていけばいいかって、またそんなときに議論すればいいことで、これはもう常任委員会に任せていいんじゃない。私は、載せなければ、載さないでもいいと思うよ。だから、もうそれも常任委員会にお任せするという形で。そうすると、常任委員会の中で、各委員は審査したわけだから、その重要性、これは市民に報告せにゃいけん、ここはちょっと難しいかな、紙媒体の資料での報告でいいんじゃないっていうのは、委員が一番分かるわけです。そういう方向性でいけば、別に、もうこだわらんでええんかな。僕の結論は、そっちかな。

奥良秀委員 今、常任委員会のほうで決めたらどうかっていう話がありました。そうであるならば、委員会を開いて——委員会を開くかどうか分かりませんが、委員の中で何がいいのかっていう話合いをしながら、配信をする動画を決めていけばいいのかなというものが、今まとまってきたかなと思いますので、委員長としてはそういうふうに、決めさせてもらえればと思いますが、よろしいですかね。

藤岡修美委員 産業建設常任委員会としては、議案が一つで、企業の本社の移転とか等々の助成金の関係なので、企業誘致まで入れて膨らませたら、結構いいテーマにはなるかなという気はしているんです。報告会で動画として挙げるとしたらこの議案の審査なんですけど、そこから膨らませていけるのかなという気はしております。

森山喜久委員長 それではそちらの報告用動画については、各常任委員会に委ねるということで決定してもよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、そういう形で。

白井健一郎委員 今の話に関連してですけど、広報特別委員会で議会だよりをつくっていますよね。議会だよりの最終面には、議員の賛否が分かれた議案が載っているんですけども、本来なら、私の考えというのはあそこには全議案を載せてほしいと思っているんです。要は、なぜここで言うかということ、ちょっと広報特別委員会の役割分担で、広報特別委員会で全部紹介してくれるなら、市民がより興味を持てる、関心のあるところを重点的に、報告用動画にまとめて議会カフェで報告するというような役割分担も可能じゃないかなと思うので、ちょっと私は広報特別委員会にはそういう提案をしてみたいなとは思っているんです。一応役割分担を考えていただきたい。役割分担という発想ですね。だから、本来なら広報特別委員会で最終面に全部議案を載せてほしいと私が提案すればいい話なんですけれども、それと役割分担の議会カフェでの報告動画という意味合いもあるので、片方で全部載るなら片方はもうはしょって興

味があるところだけしたらいいんじゃないか。逆に片方がはしよるなら、こちらではなるべく丁寧に、市民が関心を持たない、一見関心を持たないようなことでも取り上げるべきじゃないかと思うわけなんですけど。

森山喜久委員長 参考に言わせてもらえれば、この間の議会カフェに出してる資料には、右隅に賛成多数とか、全員賛成とかという形を記載させてもらって資料は配らせてもらっています。それじゃ不足ということですかね。

白井健一郎委員 その資料っていうのは。

森山喜久委員長 配っています。

白井健一郎委員 議会カフェですか。

森山喜久委員長 市民に渡しています。市民に配っています。ですから、今言われた分は、一応補えているのかなというふうに思います。

白井健一郎委員 了解しました。

森山喜久委員長 元に戻りますが、再度確認します。議会動画の関係については、各常任委員会に任せるということで決定してよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、付議事項2はよろしいですね。では（3）、次回の6月議会の議会カフェの開催日と開催場所になります。開催していくということですが、どの辺で行いましょうか。前回は7月30日火曜日、31日水曜日で、30日に昼に出合地域交流センター、夜に埴生地域交流センター、31日の昼に赤崎地域交流センター、夜に市役所と提案させていただきました。

宮本政志委員 これ、分けなければいけないよね。開催日と開催場所っていうの

はセットじゃないよね。つまり、開催場所を毎回同じところを順番、順番でやっていくという前提で、前回の委員会で委員長が提示した4か所でやりましょうっていうふうに決まると、それから、この間は理科大の件が出てきて、いろいろな人が集まりやすいところで、場所変えてみてやったらどうかっていうところも出てきたんで、それによっては、その場所の今度は日程調整をせんと。今日ここでいつやりましょうって決めても、場所は決まって「そこは駄目でした」では駄目やから。これどうなんかな、普通開催日よりまず先に場所を決めんにやいけんことないかな。場所は一緒に決められんよね。場所を決めるんなら、さっき言ったような形を前提に、委員会を進めてもらったと思うんですけど。

森山喜久委員長 意見がありましたが、開催場所のほうから一応決定していくという形でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）その候補として、また皆さん方のほうからこういうところはどうかというところがあれば、そちらのほうを出していただきたいと思います。

白井健一郎委員 開催場所、開催日については、委員長に一任したいと思いますが、どうでしょうか。

宮本政志委員 それは反対です。前回の委員会では委員長にほぼ一任したわけですよ。それで委員からいろんな意見が出て、そして開催場所も、「次の4か所でいいね」っていう全会一致のような雰囲気じゃなかったよね。どどこがとか、ここが何でこう、埴生はどうだって、いろんな意見が出たんで、その辺りで委員が議論をせず、委員長に一任ってことは丸投げになるんで、そこはちょっと、僕は駄目と思うな。やはりここでしっかり議論して、そして委員会で議決を取るべきかな。

奥良秀委員 私が前回、場所について発言させてもらったのは、埴生の地域交流センターが2回連続の開催場所になって、2回連続で開催場所が悪いかどうかは分かりませんが、もっとほかに検討する余地があるんであれ

ば、ここ以外のところを検討してっていうところがあります。

森山喜久委員長 ほかに御意見は。

前田浩司副委員長 まず、こういったものって、ルール化が必要になると思うんです。以前から月末開催っていうことでは今回も、やっぱり7月30、31日っていうのは、ここは、曲げられないところだろうと思います。で、今の開催の場所については、これまで、山陽地区で2か所、小野田地区で2か所と、これもルールとして一応決まりました。で、前回、委員長から、山陽地区で行くと、出合と埴生と埴生が駄目だったら、厚陽か、というような形に置き換えられるのか。小野田については、赤崎と市役所という、提案が出てるんですけども、これについても、私自身は今回、月末ルールで。次回の開催のときには、あくまでも開催日は月末。ほかの開催場所がもし可能であれば、これから先、その辺を詰めていくという流れではいかがでしょうか。

宮本政志委員 月末ルールって、もう少し詳細をお願いします。

前田浩司副委員長 今までの傾向で行くと、大体月末での開催が多かったと思います。前期から、たしかそういう形での取決めであったんではないかというふうに思うので、毎回、開催日を決定するっていうことではなくて、あくまでも月末に4回やるというルールを決定する前提で、続いて、場所を決めていくっていう流れでよろしいかと思いますが。

宮本政志委員 よく分からんのやけど。毎回月末ぐらいしていたからって、月末がいつルール化になったかも分からんし、別にルール化にしてないし、なぜルール化しないといけないのかもよく分からんし。その辺りは、「だから開催日を月末にしましょう」ではなくて、「開催場所をどのようにしましょうか」っていう話からいろいろな議論から意見を出しているわけでしょ。固定概念のように、「地域交流センターで今までどおりやっ

ていきましょう」、確かに6か所以上とかの原則はあるけども、その辺りも踏まえて、場所を別に地域交流センターから変えてもいいんじゃないか。だから、モニターが「人が集まる場所はどうですか。例えば理科大はどうですか」という御意見も出て、この間理科大の件も議論したわけでしょ。「人が集まるのは、ほかにどこがある。」、「サンパーク、そうね。」、「やっぱり、Aスクエアはすごかったね、人もいっぱい来たね。」、「またAスクエアもいいんじゃない。」とかっていろいろな議論をして、「2か所でもいいんじゃない、その代わり1か所、1か所に多くの人を集めていこうとか。やっぱり6か所に戻そうよ」とかね、そうやっていかなきゃいけない。別にルール決めをせにゃいけんこともよく分からんし、ルール決めになったわけでもないし。何で月末に絶対しないといけんっていうことにこだわる必要はないと思うんでね。皆さんの意見聞きたい。開催日をまず決めるべき。まずは場所じゃない。

森山喜久委員長 もともと開催場所はどうかということで意見を求めてきておったので。今、意見が2人から出ましたが、また皆さんのほうから。では、一旦暫時休憩させていただきます。

午後2時14分 休憩

午後2時29分 再開

森山喜久委員長 それでは休憩を解いて再開したいと思います。議会カフェの開催場所について、議論の途中でありましたが、開催場所をどのようにするかという御意見を頂きたいと思います。意見はどうでしょうか。

藤岡修美委員 従来どおり、厚狭地区、小野田地区で、会場は4か所でいいと思います。前回、問題になったのは埴生地区を2回連続でっていうのがあって、いろいろ課題が出たと思う。今回は夏なんで、エアコンが効く

とか、それから人が多く集まったときにテーブルを増やせるかとか、隣の会議の話があまり聞こえないぐらいのスペースが欲しいなというのを意図しながら、会場を決めていったらいいんじゃないかなと思います。

宮本政志委員　ちょっと考え方が違って、やはりモニターの方からは「人が集まるようなところで、議会報告会を開催してみてもはどうでしょうか」というような御意見が出たんです。モニターは、例えば理科大のことを言われました。サンパークなど議会報告会をいろんな市民の方の目に触れるようなところで1回やってみるっていうのも一つだと思います。別段4か所で、交流センターのどこどこでどうだっていうよりは、どこかで試みたほうがいいなと思います。

森山喜久委員長　ほかに皆さんの御意見はどうでしょうか。今、理科大とか、サンパークとか、人の目に止まる場所という御意見がありました。その辺についての皆さんのお考えをお聞かせください。

白井健一郎委員　具体的に考えてみると、サンパークには若者が来るんですよね。私もサンパークに時々食事に行くんですけど、見てる感じは、中学生、高校生、大学生、あと若い夫婦と子供連れがいます。しかし、あまり年配の方はいないんですよね。もちろんだからいけないというわけじゃないんですけども、果たして、開放された空間の中でやることによって、お客さんが実際見てくれるかどうかっていうこと。現実的に考えた場合、サンパークは実現可能性があるのかなっていうふうに思います。あと、理科大にも、問題がありまして。というのも、理科大の場所は、市の一番端であります。理科大生は確かに数は多いんですけども、そこに市民が足を運んでくるかって言ったら、あまりちょっと想像できないんですよね。要はその人が集まる場でやるっていうのは、開放された空間で、ぶらっとその場所に来た人も一緒に参加できるというか、雰囲気を感じ取れるっていうものがメインだと思うので、具体的に考えた場合、本市でできるのかどうかっていうのは少し疑問に思います。

宮本政志委員 今二つあったけど、まず1点目は理科大が本市の端っこなら、埴生地域交流センターも端っこよね。だから場所っていうのは今のは少し違うなと思う。「ふらっと寄ってもらおう」って、この最近の議会報告会でふらっと来られた方が果たして何人いるか。ほとんどおらん。議員が、広聴特別委員は5人以上、その他の議員は3名以上呼んでくださいと。すごく呼ばれる議員も何人かいらっしゃいますけど、9割以上の市民が議員の声かけによって来られている。そのことから、従来どおりじゃなくて、やはり目指すところ、そして人が集まりやすいところっていうところの論点で、少し考えていただきたいなと思いますよね。

中島好人委員 前回の議会カフェで、私らの班に理科大生が参加しました。いろいろ話を聞いたんです。彼自身も、山口東京理科大でやってほしいと、学生から意見が出たんです。大学の先生は1人しか知らないんですけど、その先生は私がやってる剣道の関係ですけども、先生方も何人か呼べんかねっていう話は、先生にはしているけど、先生がのるか、のらないかは、また話は別ですけども。そういうことも、できると今感じたところでもあります。

森山喜久委員長 そのほかには御意見はどうでしょうか。

奥良秀委員 今回開催するのは、多分暑い時期なので、きちんと熱中症対策のできる場所であって、なおかつ目立つ場所がということであれば、サンパーク等々の話も出てくるのかなと思うんですが、きちんと議会報告会になるような会場でないといけない。例えば、サンパークであれば周りのがやがやして、意見をきちんと聴取できるのかなっていうところもあるので、決めるのであればそういうところも確認しないといけないんです。やはり私としたら、今、委員長が出されている埴生に関しては、2回続けてっていうところでどうなのかなという意見は申しましたが、残る他の三箇所に関してはこのままでいいと思います。ただ、多いところを増す。例えばAスクエアは、今回初めて使わせてもらいました。

確かに広くてよかったなって思いますので、こういう場所が、市内全体にあれば一番いいんですけど、なかなかそういう場所もないので、Aスクエアとかも絡めていろいろ考えていければいいと思います。だから、論点は、埴生地域交流センターを2回続けてやるっていうのは私はどうかなというところで、あとは三つはそのままいいと思います。

宮本政志委員 例えば、議会報告会も第1委員会室、第2委員会室を使ってやったら、議会ってこういうところなんだっていうのも一つ。藤岡委員と奥委員に聞きたいのは、「従来どおりでいい」という御意見ですよ。今、議員が声をかけて、呼んでいる方が90%以上です。本来なら、議会活動として議会報告会というのをやって、そういうところに市民の方が参加して、そして、いろんな意見を言ったら、もしかしたら議会のほうが取り上げて、こういうふうに市政が変わるかもしれないという興味を持っていただいき、やっぱり来てもらえるというのが前提にあると思います。その前提でちょっとお聞きしますが、現状であれば議員が呼ぶ人が九十何%ですよ。今の会議を続けていくに当たって、どうやって市民の方が自動的にたくさん来るっていう方向性をお考えなのか聞いてみたいです。あるいは、どうやって議会報告会をもっと知らせるかっていうことも踏まえて意見をお聞きしたい。

藤岡修美委員 例えば、今回、私が一般質問した「南海トラフの地震対応」とか、そのようなみんなが関心持ちそうなテーマで投げかける。それは、一般質問のことで議会報告のテーマとは若干ずれるんだけど、何かその辺のテーマで呼びかけたら案外、興味を持たれる方もいるかなと。それと理科大の話が出たんですが、施設として理科大を使うんじゃなくて、理科大の学生をターゲットに、市政、ちょっとまたそれも若干、報告会とはずれるかも分かんないんですが、僕も学生と何かいろいろ山陽小野田市の課題等々について何か話してみたいし、そこはもうターゲットを絞る。逆に。理科生の若い人の考えっていう感じで、それは趣旨とはずれるかもしれないけど、そこにすごく興味がある。

宮本政志委員 論点が違うと思う。それはまた市民懇談会なり、広聴特別委員会が理科大に声をかけて、「こういうテーマで学生の皆さんの御意見をお聞きしたいんで、よろしいですか」っていう活動を振ればいいだけで、それと、広めていくために「人が集まりやすいような場所でやったらどうですか」というモニターの御意見はいい案だなと思ったから「場所を変えてやってみたらどうか」っていうことを言っているんで、今の藤岡委員が言われることは別段今まで従来どおりの交流センターでいいんじゃないかっていうのは論点がずれているよね。それは市民懇談会なりで仕掛けていけばいい話だから。僕が聞きたいのは、2人が「従来どおりでいいんじゃない」って言われたので、従来どおりでやったら、例えば、議員が呼ばなくても自然に人がどんどん議会カフェに来てくれる、あるいはどうやったら、もっと議会報告会に人が集まる交流センターになるのかっていう意見があるから、「従来どおりで」と言っていると思うので、その辺を聞きたいなって思う。

藤岡修美委員 サンパークや理科大が会場として市民の目に触れるから人が来やすいっていうのがどうかなって。私自身は、人が集まる場所だからといって市民が議会報告会に来てくれるのかな。そこは若干「？」がつくかなと思う。やっぱり市民が関心持つのは、会場じゃなくてテーマかなって。

宮本政志委員 市民が興味を持つようなテーマに絞ってやれば、市民が多く、議会報告会に来るっていう前提なら、今回はもう議員が何人呼ぶという縛りはのけるってことね。僕は、サンパークであろうが理科大であろうが、議員が何人呼ぶというものは要ると思う。ただ、それとは別に、モニターが言われて、意見を見返してみる中で非常にいい意見やなと思うのが、交流センターでやるときは九十何%議員が呼んだ人が来ちよるよね。周りの人が「あそこでまた議会報告会やりよる。行ってみようか」っていう人はほとんどおっちゃんない。サンパークとか理科大とかの目立つところでやったら、議員は当然呼ぶので100人来たと。でも、「そ

こで何しているのか。旗立てて赤いジャンパー着て。議会報告会しよるんですって」となったら、議会はここで議会報告会っていうのをやりよるんじゃないかって。そういう発想が重要なかなと思ったから、モニターの御意見というのは非常に重要だから、聞き置くだけじゃなくて、実践してみようかと思って、今それを言いよるんですよ。だから、「従来どおりでいいんじゃない」って言ったけど、その「従来どおり」の論拠をもう少し。理由を今言いようわけだから、そこを言わないと、「従来どおりでいいんじゃないですか」では議論に納得ができないと思っている。

前田浩司副委員長 過去の実績がある図書館とか、文化会館、特にやはり公共の施設を市民の方に利用していただいている背景もあるので、その辺も候補の一つに入れていただければと思います。

森山喜久委員長 今、新たな場所も出ました。図書館、文化会館、あとここでは「やっぱりこの前のAスクエアもよかったね」という話も出ておったので、3か所は基本いいけれど、埴生地域交流センターが2回続けてという検討課題に出ているので、前回、出合地域交流センター、赤崎地域交流センター、市役所を示しているんですね。それで、改めて図書館、文化会館という声も出ました。Aスクエア、理科大、サンパーク。どうしても開催時期は夏場になりますが、これまでは、30人平均して来られています。それに対して議員が大体20人を超えています。ですから50人強の方々が参加できて、開催できる場所が必要なのかなという認識の中で、これ以外に候補地を皆さんからいただきたいと思いますが。今、図書館、文化会館、Aスクエア、理科大、サンパークが、出てきたと認識しております。

藤岡修美委員 最初に提示されていた市役所大会議室もあると思います。

奥良秀委員 以前でしたら、きらら交流館とかを使って、大きいところでやっていたこともあるんですけど、今は使えないんですよ。やはり本山、

赤崎地区が、なかなか行ってないところもありますので、狭くはなりませんけど、やはり広くということであれば、本山、赤崎地域交流センターで、あんまり人が入らないかもしれませんが、そこもやっぱ使っていないといけないのかなというところは、考えていきたいなと思っています。

白井健一郎委員 高千帆には地域交流センターの近くに福社会館があります。

森山喜久委員長 高千帆福社会館ですね。

宮本政志委員 スマイルキッズは使えないのか。これ打診してみないと分からんよね。2階はめちゃめちゃ広いよね。

森山喜久委員長 スマイルキッズですね。広がったですね。

奥良秀委員 あと高千帆であれば、さっき白井委員が言われた横の別館の2階であれば、かなり広い場所があると思いますので。

森山喜久委員長 それが福社会館ですね。交流センターの別館が元の福社会館という表現だったんですね。あそこでやっていた。ちなみに今の中ですら出たところで、金銭的にかかりそうなところは、やはりサンパークですかね。

宮本政志委員 今、何か所か結構出たんで、それで今度は優先順位をつけていきましょう。どうしてもその2人は「従来どおりの交流センターがいい」と言っているんで、交流センターのセットも同じように交えて、もうある程度優先順位をつけて、「ここちょっと難しいですね、断られました。ここ無理です」と言ったら、どんどん省いていけば、優先順位が残ったら2なんか4なんか、そこを決めておかないといけないけど。もう、優先順位を決めていこう。「どこしますか」と言っても決めらん

よ。

中島好人委員 できるだけやっぱ僕らは新しいことに挑戦をするということは大事なことじゃないかなあと思うし、また知恵も湧いてくるんじゃないかと。ポスターだけじゃなくて、チラシもつくって、理科大生の寮にも配布したりとか、やっぱ新しいところに挑戦することは大事なことじゃないかなあと思いますので、ぜひそういう方向で進めていけたらなと思います。

森山喜久委員長 それでは、今出てきた会場について整理をしたいと思いますので暫時休憩します。

午後 2 時 5 1 分 休憩

午後 3 時 0 5 分 再開

森山喜久委員長 それでは休憩を解きまして、再開します。引き続き、開催場所の確認を行っていきたいと思います。再度改めて、図書館、不二輸送機ホール、Aスクエア、山口東京理科大学、サンパーク、市役所3階大会議室、赤崎地域交流センター、高千帆福社会館、スマイルキッズが今候補に挙がったと思います。山陽地区につきましては不二輸送機ホールのみになりますが、こちらは最優先になろうかと思っています。小野田地区で優先するべきところの御意見を頂きたいと思っています。

宮本政志委員 委員長、もう一度言って。

森山喜久委員長 山陽地区は不二輸送機ホールのみしかないので、こちらは山陽地区では、優先が不二輸送機ホールというふうに認識しております。小野田地区についてどうかということです。

宮本政志委員　それも踏まえて、例えば小野田地区で2か所やって、今回山陽地区はなかったっていうのも別に悪いわけじゃないんだから。それは厚狭地区1か所を小野田地区1か所っていうのも一つだし。そういう意味やろ。（「はい、そうです」と呼ぶ者あり）不二輸送機ホールで決定という意味じゃないないよね。（「そういう意味じゃないです」と呼ぶ者あり）不二輸送機ホールも非常にいいんじゃないけどね。厚狭地区は、この不二輸送機ホールの小ホールは、一ついいなと思うんですよ。小野田地区のほうは、やっぱりサンパーク。次に理科大かなあ。市役所もいいけど、私はサンパークかな。次、理科大かな。三つ目が市役所かな。

森山喜久委員長　皆さん方のほうで、三つぐらい候補を言っていたらどうか。どうでしょうか。

宮本政志委員　高千帆福祉会館は昔やったね。あれ二階に上がって、広さ的に50人、60人が余裕で入るスペースがたしかあったんじゃないかなと思うよね。それと二つ目の図書館は、前期に2階でやったな。ざわつくよね。そうすると、本を静かに読みよった人に少しどうかっていうのもあるんで、基本的に図書館とそれから高千帆福祉会館は、外すべきかなと思いますね。

白井健一郎委員　これ図書館を第1候補というわけではないですね。図書館の説明をちょっとしたいんです。私、図書館に詳しいので。いつも通るので。場所的には2階の一番大きな部屋になると思うんですけど、あそこでは最近、例えば、オープンマイクって言って、マイクを5分間1人に渡して、その人はもう歌ったり踊ったりとか音楽をガンガン鳴らしてやったりとかいうこともやってるんですよね。今の館長が、図書館は本を読む場だけでなくて表現する場って捉えているんで、結構そういうことに融通が利くんじゃないかと思っています。ただ、前期に問題があったときも同じ館長だったと思うので、もしかすると苦情が出るかもしれませんが。その点は確信を持ってないですね。図書館といっても、

本を読んでいる人たちの真ん中でやるんじゃないですよ。今言ってるみたいに別室ですからね。

森山喜久委員長 それを踏まえて、白井委員はどこがいいとかいうのはありますか。（「特にいいです」と呼ぶ者あり）ほかの委員の皆さんのほうからどうでしょうか。

奥良秀委員 今から選定して使えるかどうかという事なので、3か所と1か所で4か所が決まった中で、駄目だったらっていうところを決めておいたほうが早いんじゃないかなというのもあるんですが、いかがでしょうか。

森山喜久委員長 中島委員は、1、2、3は一緒ということで。

奥良秀委員 今この資料で見ると、厚狭地区であれば、不二輸送機ホールの一択になるのかなと思っています。使えるのであれば、出ているサンパーク、市役所3階、山口東京理科大学っていうこの三つはいいと思います。地域交流センターが狭いというのはあるんですけど、きらら交流館ができるまでは、本山、赤崎地域のことを考えれば、赤崎地域交流センターっていうのもやはり入れておいたほうが、平等性が保てるのかなと思います。

白井健一郎委員 Aスクエアを推したいと思います。というのも、まだ行ったこともない人もいるだろうし、結構最近、会議室の利用も増えているように感じますので、やはりみんな一度はのぞいてみたい場所じゃないかなと思っています。

奥良秀委員 ただ、これ全部がいいところばかりなので、今回が駄目でも、また次のときに会場を使えるように考えていけばいいと思います。取りあえず皆さんの意見を聞いて、今回どこでやるかっていうのを決めてい

ただければと思います。

藤岡修美委員 山口東京理科大学、サンパークっていう発想がなかったんで。でも面白いかなと皆さんの意見を聞きながら思ったところですよ。ただ、気になるのが今まで厚狭地区2か所を小野田地区2か所でバランスが取れてたのが、例えば、厚狭地区の不二輸送機ホールで限定1か所に絞ってしまうとその辺のクレームが来ないかなという不安があるんです。そこはいいのかなという気がしてるんですが。

宮本政志委員 さっき言ったように、例えば、今後ずっと不二輸送機ホールのみでとかとなるとたしかにそうよ。でも今回は、不二輸送機ホールで厚狭はここ1か所やったと。別に2か所で決まってるわけじゃないんで、例えば、サンパークと市役所3階大会議室と赤崎地域交流センターで3か所でやりましたと。このようにずっと厚狭は1か所、小野田は3か所が続けば、不平不満はできるけども、「今回は、たまたま小野田が3か所です。厚狭は1か所です」これは、ずっとはいけんけど別に問題はないと思う。

森山喜久委員長 ほかにはよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では今、意見を確認すれば、山陽地区は不二輸送機ホールということで、小野田地区はサンパーク、その後山口東京理科大学、市役所、Aスクエア、あと赤崎地域交流センターという形の順番で、当たるような感じなのかなと。候補として、当たるような形になるのかなと思いますが、そういう形でよろしいですか。

宮本政志委員 いや、だから何か所でやるのよ。それ決めずにやね。「2か所って決まりました」、「そのうち1か所はもう厚狭は不二輸送機ホールの小ホールで皆さんよろしいですか」、「いいですよ」なら2か所のうちの1か所が決まりました。残りの1か所は、「優先順位はこうで」っていうことで行くんならいいけど、2か所やるか4か所やるか、何か所

やるか決まっていんやけえ、何か所でやるか決めないと。

森山喜久委員長 では、開催場所の箇所数ですね、何か所でやるのがいいと思いますか。

藤岡修美委員 それは同じ会場で午後2時からと午後7時からというのもありかな。（「はい」と呼ぶ者あり）

森山喜久委員長 同じ場所で午後2時からと午後6時からというふうな意見もありました。——同じ場所であれば2か所で時間帯を統一していくっていうやり方もありますし、それ以外のところもあると思いますが、その辺で皆さんのほうから御意見はありますか。

宮本政志委員 そうすると、もう2か所で、例えば、厚狭地区は不二輸送機ホールの小ホールで、小野田地区はサンパークということで、取りあえず当たってみる。不二輸送機ホールが駄目な場合が厚狭地区の代替地がないよね。それはもう近々に当たらないけんね。その場合とあと、小野田地区は、サンパークが駄目だったら「次は市役所にしますか、理科大にしますか」ってことで順番を決めて、最悪、不二輸送機ホールが駄目だったら小野田地区でサンパークもいい、市役所もいい、理科大もいいとなれば、小野田地区で2か所やりますかっていう形で、もうこれは仕方ないよね。だから、その順番で小野田地区を決めて、2か所。私はいいと思いますよ、不二輸送機ホールと小野田地区ではまずはサンパーク。2番目は、白井委員が言われるように、山口東京理科大学にいろいろな方に来てもらったり、理科大生とやるっていうことを前提にやるんなら、それをターゲットにして次回の議会報告会か、もしくはそれ以外で、理科大生にターゲットを絞ってやるっていう方法も考えられるんで。そうしたら二つ目は、小野田地区は市役所の3階大会議室かなと思います。2か所は、厚狭地区は不二輸送機ホール、小野田地区は、第1候補サンパークで第2候補が市役所大会議室って形でいいんじゃないですかね。

森山喜久委員長 意見を頂きましたが、ほかの皆さんはどうでしょうか。

高松秀樹議長 同じ場所で昼、夜にやるといのが理解できない。より多くの人たち、地域性のある人たちを呼びたいのではないか。ということは、やる場所というのは散らばったほうがいいのではないか。でも今回の山陽地区は1か所しかないからこの1か所でやりますよとなる。同じ場所で2回やるという意見にほかの意見がないというので発言しました。2日間の4か所でやるのでしょ。4回を4か所にしたほうがいいのではないかと思う。

白井健一郎委員 委員長に議事進行のことで要望があるんですが、皆さんからこれだけの意見が出ましたよね。表に上がっています。回数を2回にするとか4回にするとかいう話もあります。場所を2か所にするとか4か所にするとかという話もあります。意見を皆さん出し合った後に、委員長がまとめてもらったほうが効率がいいと思います。（「そうね」と呼ぶ者あり）

中島好人委員 不二輸送機ホールにしても、サンパークにしても、初めての取組で、評価できると思うんですよ。これを同じ会場で2回やる、昼と夜と2回やるよりも1回にしたほうがいいと思うんです。不二輸送機ホールで1回、サンパークで1回。だから4回のところ、2回になるけども、新しいところで取り込むことは、これまでと同じようにずっとやるよりもインパクトがあっがいいんじゃないかなと。回数は減るけど中身はいいとなると思います。

森山喜久委員長 今の中島委員の意見は不二輸送機ホールで1回、サンパークで1回の2回でいいんじゃないかという御意見ですね。（「はい、そうです」と呼ぶ者あり）ほかの方の御意見はよろしいですか。

奥良秀委員 私は2日開催の4会場がいいと思います。場所は先ほど言いましたとおり、山陽地区であれば、不二輸送機ホール、小野田地区は取れる

かどうか分からないんですけど、山口東京理科大学、サンパーク、市役所大会議室、この三つでやればいいかなとは思うんですけど、どうしても心配になるのが地域性の問題があります。私の考えではこの三つのうち、山口東京理科大が駄目であれば赤崎地域交流センターを入れてもらえればその地域も包含できるのかなと思います。1日2回でお願いしたいと思います。今までどおりの時間でお願いしたいと思います。

中島好人委員　そういう意見が出れば、それは多いほうに傾くのが正解だなというふうに思います。皆さんが言いつらいだろうから、「僕はやっぱ2回でいいんじゃないか」というふうに言ったんだけど、「いやいや、やっぱり4回で今までどおりやる必要がある。」となれば、「そうですね」ってこうなります。

白井健一郎委員　先ほど申しましたように、私は委員長に一任でいいんですけど、私の希望を言うならば、具体的に見るとサンパークだけはちょっと様相が違ふと思うんです。かなり騒々しいことが予想されますし、初めての試みだけに1日2回やるのは厳しいんじゃないかという気もするので、サンパークを選ぶなら1回かなと。サンパークで昼、夜の2回は難しいんじゃないかという考えだけを言っておきます。

森山喜久委員長　どういう開催状況を考えてらっしゃいますか。

白井健一郎委員　そこまで希望はありませんけど、サンパークを選ぶならば、1回じゃないかなって思います。

奥良秀委員　サンパークでやる場合ですけど、いろんな場所が、想定されるんですよね。まず、今、サンパークでやるということが結構上がってきてるんですけど、どこでやられるんですかね。

森山喜久委員長　サンパークでの候補場所はサンパーク2階の催事場ではない

かな。私はおぼろげながらそう思っています。

奥良秀委員 分かりました。催事場であれば、ガラス展もやられてましたし、静かなところだとは思いますが。私が思っていたのは、よくイベントをされている1階の場所で、いろんな人に見てもらうために、その場所がいいんじゃないかなって言われていたんじゃないかなと思ったので、発言させてもらっているんですが。催事場なんですね。

森山喜久委員長 私は催事場と思ったけど。

奥良秀委員 サンパークの催事場っていうことは、結局のところはサンパークの奥側のところであって、あんまり人が見えるところではないと思うんですよね。だから、その効果的なものはどうなのかなあ。やってみないと分かりませんが。実際入り口は小さいですし、どうかなっていうところがあります。

中島好人委員 やって見なければ分からないのなら、やってみたらいいんじゃないかなと思う。失敗したならそうだし、成功したならそうだし。何もやらないよりは新しいことに挑戦していくべきだというふうに思います。

森山喜久委員長 今出てきた意見は、2日間で4会場、日程的には今までどおりという認識であります。4か所というのは、山陽地区は不二輸送機ホール、小野田地区は3か所で、サンパーク、市役所、山口東京理科大学、若しくは赤崎地域交流センター、Aスクエアでやったらどうかというふうな意見があった。ただ、日時を確認した後で場所も当たるしかないと思うんですが、2日間という形でまずはよろしいですか。「はい」と呼ぶ者あり)不二輸送機ホールを午後と夜の2回やるという形で言われたんですか。

奥良秀委員 私の認識としては、2日間の4会場。だから4分の1が不二輸送機ホールで、あと4分の3がほかのところでやるという考えです。（「ああ、そういう意味か」と呼ぶ者あり）

森山喜久委員長 山陽地区は1か所、小野田地区が3か所ということの認識でよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）その形で、会場は当たるようにしたいと思います。日付を示さないと当たることができないので、日程をお願いします。

宮本政志委員 前は7月30日、31日で予定していたんかいね。では、それと8月の最初も含めて、30日より前でもたしか大丈夫よね。8月の初めと7月の終わりを前提にその前後で段取りをしてみたらいいんやね。

森山喜久委員長 7月29日月曜日からということですか。この前回の私から提案は、30日火曜日、31日水曜日という話をしましたけど、その前後を含めて、5日間程度でちょっと当たってみる。その週ですね。（「2日間というのは連続した2日間なのか、間が空いてもいい2日間なのか」と呼ぶ者あり）この29日の週で行うという形の分ではまずよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）こちらについて、各会場と日程調整をさせていただく中で連続をしないかもしれませんが、そういうところを含めて、こちら、委員長に一任してもらってもいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、そうさせていただきたいと思います。それでは付議事項（3）はよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは（4）議会カフェでの質問に対する回答ということで、令和5年の12月定例会の議会カフェの後日回答分の仕分を前回していなかったもので、それを資料に上げております。仕分の担当委員会の確認をしたいと思います。1番の「Aスクエア周辺では車の混雑が予想されるが、入り口は一つなのか」というところは、総務文教常任委員会でもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）二つ目、「本山周辺は観光地に適した場所だが、最近では太陽光パネルの設置が進んでいる。市の考えはどうなのか」、これは、

産業建設常任委員会ですよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）「オートキャンプ場を含めた南部地区の今後のビジョンは何かあるか」、これは、産業建設常任委員会ですよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）次の「利用者の少ない路線バスを大型化して利便性を向上させることはできないか」、これは、産業建設常任委員会ですよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）「L A B Vについて」は総務文教常任委員会と思いますがいかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）「下水道料金6%分」は産業建設常任委員会はいかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）「県道宇部船木線の改良工事」は産業建設常任委員会はいかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に「過去、本山岬から北九州に向けての防潮堤の話」は総務文教常任委員会はいかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に「中央福祉センターに社会福祉協議会において無料で手話活動しているが、今後はどこですればよいのか困っている」、これは、民生福祉常任委員会はいかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）「きららガラス未来館における」の部分は総務文教常任委員会ですよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）「厚陽地域交流センターの建て替えについて」は総務文教常任委員会はいかがでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次に「厚陽保育園の駐車場、側溝の補修をしないのか」は、民生福祉常任委員会と産業建設常任委員会ですかね。市道の関係なので産業建設常任委員会ということでもよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）そういうさせていただきます。では、（5）3月議会の議会カフェの報告書になります。

奥良秀委員 今、回答分について、振り分けはされたんですけど、これはどのように報告すればよろしいのでしょうか。

森山喜久委員長 そうですね、今から委員会に送らせていただいて、どれぐらいの期間が要りますか。

宮本政志委員 次の6月定例会議会カフェのときには、本当は貼らにゃいけんのやろ。全件貼らないといけん。それを前提に前倒しで、いつって委員

長が決めたらいよいよ。

森山喜久委員長 7月の半ばぐらいですかね。7月19日金曜日くらいでいいですかね。7月19日金曜日を目安にしたいんですが、よろしいでしょうか。

白井健一郎委員 議員が呼んでわざわざ遠く足を運んでくださった方とかもおられると思うんで、現地で貼るだけではなくて、やっぱりネットで公開したほうがいいと思います。

森山喜久委員長 今言われましたように現地に貼付するのみでなく、ホームページでも掲載したらどうかということですか。その形でよろしいですか。

宮本政志委員 今の白井委員の意見は賛成です。それともう一つ、これ広聴特別委員会を開いてこの回答について協議しないといけない。だってこの中からもしかしたら政策提言とか、附帯意見等に持っていきたいっていう方向性を委員会の中で出る可能性があるから、委員会を開いてやらないといけないけど。答えは、委員会を開いてやったろ。モニターの意見交換会の回答にしても。

森山喜久委員長 7月19日までに委員会を開いて確認しないとイケない。一週間前倒しですかね。7月10日に報告を頂いて、翌週に委員会を開く形にしたいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、（4）議会カフェでの質問に対する回答はよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、（5）3月議会の議会カフェの報告書についてということで、遅くなりましたが報告書を上げさせていただいております。次の資料の報告書1からです。こちら総務文教常任委員会の関係でAスクエアの関係の1件、質問・回答等はよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）厚陽小中学校に小規模特認校導入の基準ところよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ではその他のところもよろしいです

か。（「はい」と呼ぶ者あり）総務文教常任委員会のその他です。その他の意見ですね。次、民生福祉常任委員会のごみ収集運搬業務。

白井健一郎委員 その意見をこのまま置いといていいのかっていう問題をこの前提起したと思うんですけど、どうでしょうか。皆さんの意見をお聞きしたい。意見は意見として、もうそのまま言いっ放しにしておいていいのかっていう話なんですけど。

宮本政志委員 白井委員の意見は、例えば、これでいうと「災害時の避難経路をしっかりと検討すべきではないか」っていうところで所管にそれを投げ、検討するというようなところまでいかにやいけんねって言うのかな。（「はい」と呼ぶ者あり）

森山喜久委員長 そちらの意見について皆さんは、どのようにお考えでしょうか。

宮本政志委員 これは、このテーブルを仕切った方かな。「理科大の交通整備はどうなのか」って。これは広かったんでテーブルの進行役の議員が、もう少しこれ掘り下げて「どういうことか」って聞いておかんといけんやったなというのがありますね。ただ、山口東京理科大への「交通整備はどうなのか」っていうことに対して、「現在理科大の交通整備はこうなっています」っていう回答をすることは、丁寧なのは丁寧よね。「災害時の避難経路をしっかりと検討すべきではないか」というのでは、災害時の避難経路とは、どこの避難経路のことを言っているのかが分からないんで、ここが少し広すぎて委員会に振っても分かりにくいと思うんよね。ここがテーブルの進行役なんよ。市民の方が言われた意見というのをもう少し掘り下げて議会としてどうやったら検討するその材料になるかっていうのをやっぱり進行役がしっかり聞かんとね、これで終わっとるからね。振り分けが難しいよね。振り分けを一応するんなら両方とも総務文教常任委員会やろ。

森山喜久委員長　そうですね。総務文教常任委員会になりますね。総務文教常任委員会のその他になりますから。白井委員に関わりますから。では今、白井委員が言われましたように、こちらは出てきた意見を各委員会に送付するかどうかですが。

白井健一郎委員　提案なんですけど、これは前回も言ったんですけど、委員会に振るのは反対はしませんが、例えばこの意見を表にして冊子かなんかにまとめて、議員に一覧するだけでもかなり違うと思うんですよ。今後取り上げようと思う人もいるかもしれないし、そのぐらいのタッチでもいいと思うんですね。完全に「委員会に預けて答えを求めなさい」ってするまでないと思う。

森山喜久委員長　白井委員から冊子状態にしてまとめて、議員に配るという意味合いでよろしいですか。

白井健一郎委員　配るのもいいし、会派室、あるいは事務局に据え置く、そしてそれを閲覧してもらくくらいでも全然違ってくると思うんですよね。この中から例えば「次の一般質問にこれを取り上げてみよう」と思う方もいるかもしれないという意味でのタッチでも意味があることじゃないかと思っています。全て委員会に割り振って答えを出してくれってなると負担ではないかなという思いもあるもので、そういう提案をしました。

森山喜久委員長　議会カフェの報告書を例えばこれ確認できたら、各議員が見ることができるんですよね。

白井健一郎委員　そこを一步踏み込んで、市民の声を聞こうとするかどうかの違いでね、タブレットに入っているからおのおのの議員で見ておいてくださいじゃなくて、やっぱりこう意見を抽出するところまでやると。ただ、委員会に預けて正解を出してくださいっていうところまではやらなくてもいいんじゃないかというのが私案です。

宮本政志委員　これ議会活動の結果なんで意見はもう全部投げればいいんじゃないですか。担当の総務文教常任委員会に。例えば、これJRの活用で南北自由通路が必要であるって市民の方が言われたんでしょ。市民の方からこういう意見が来てますかってことでこれも三つとも総務文教常任委員会、次は三つとも産業建設常任委員会、民生福祉常任委員会でそれぞれ意見は投げりゃあいいんじゃないですか。

森山喜久委員長　今、各常任委員会に送るという形の分の意見ありましたらどうでしょうか。なければ送るということでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、送るということで。

奥良秀委員　ただ、今後この意見って書いてあるんですけど、これが本当の意見なのか、その答えが必要なのかは、きちんと聞き取りをしないと、意見交換の時間のあるときにこういう質問が多分出てきていると思いますので、その辺をきちんと、次の議会報告会を行うまでに決めておいていただきたいなと思います。

宮本政志委員　そうじゃなくて、これは市民の方の意見として受け止めるか、受け止めんかじゃなくて、今回のこの意見と要望出ていますが、これはもう委員会に投げればええんよ。委員会で理解ができんとか、どういう意味なのかっていうことがあるので、広聴特別委員会の議会報告会の進行役が振られた委員会が困らないようにちゃんとやってよっていうことの要望を打ち出してくれればいい。これは意見としてどうこうじゃなくせつかく言ってくれちゃったって、一旦受けて投げればいいんよ。各種常任委員会に。

白井健一郎委員　感想みたいになっちゃうんですけど、やっぱり市民から意見を聞く。例えば、議会カフェの大部分の時間を使って、市民から意見を聞く。あるいは市民懇談会をするかもしれない。まだ分からないけれども。そういう市民から意見を聞くときには、その後のフォローというか、その負担を十分確保してやらないと、単に市民の方のガス抜きだけに終

わっちゃったんじゃ、逆に議会側の評判を落としてしまうと思います。

宮本政志委員 今、白井委員が言われることを言うのであれば、この議会カフェで出た意見は、今これずっとそれぞれ三常任委員会ごとに、分けちゃうんやったら、これそれぞれの三常任委員会に渡すんよ。三常任委員会でこの議会カフェで出た担当所管に対する意見は全てもんでいきゃええんよ。ということやね。

森山喜久委員長 今頂いた意見で、皆さん方から何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）では、各常任委員会に振っていくということよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）これが足りていないんじゃないかというところは、加筆していきたいと思います。皆さん方で自分たちのテーブルの中でこういう意見があったけどそれが反映されてないのではないかという気づきがあれば指摘をお願いいたします。指摘については別日に改めてやったほうがいいですか、それとも今日この場で確認しますか。（「どうということ」と呼ぶ者あり）こちらに報告書を出していますが、それについて「自分のテーブルではこういうふうな意見があったけど、それは漏れてるんじゃないか」とかそういった気づき。（「全部聞いてからでない」と呼ぶ者あり）各テーブルでこれはあったけどどうなんだろうという形で——漏れていたものがあれば加筆した状況の中で、各常任委員会に振るということよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）ではカフェのほうは以上でよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）では、2の議会モニターについてに入ります。（1）議会モニターの団体からの選出委員についてということですが、こちらについて、先般の委員会で議会モニターとの日程調整をするに当たって、「出られない日があったら、いつだったら来れるのかという日程調整をするべきだ」という意見がありました。その中の団体推薦の委員で、実際はもう山口県にいらっしゃらずに、東京のほうに単身赴任をされてる方もいらっしゃいます。一応団体推薦ということで、今その方に委嘱されている状況なんですけれど、その団体推薦の方の後任を認めるという形が、今要綱上に

定められてないので、皆さんに意見をいただきながら、転勤とか、異動があった場合に後任の方をその団体から求めるというところの確認を取りたいと思います。具体的には今回PTAの方が、単身赴任で今東京に行かれています。

宮本政志委員 これはPTAから選びましょうって言って、PTAから個人的に選んだのか。経緯を教えて。この方の選んだ理由は。例えば、「商工会議所の中から誰か出してください」って、団体から出てきたんじゃないの。このモニターの方はPTAから出た個人の方でPTAと関係ないってことですか。個人だけど初の選任がたまたまPTA関係ってことですか。

森山喜久委員長 市PTA連合会のほうから出たということです。

宮本政志委員 そうですね。そうしたら、前の広聴特別委員会は団体として、例えば山陽商工会議所、小野田商工会議所、PTA連合会という、つまり団体を指定したわけでしょう。その団体から出てきているのなら、その方がおらんことになったら、その団体に代替りの者を出してくださいとするのが筋じゃないのか。

森山喜久委員長 前回の広聴特別委員会で、そちらについては、「一旦委嘱されているので、その方が引き続きやってください」とうちが示しているみたいなんです。ここで、一旦暫時休憩します。

午後 3 時 5 6 分 休憩

午後 4 時 0 5 分 再開

森山喜久委員長 休憩を解きまして、再開します。付議事項1、議会モニターの団体からの選出委員については、また事実確認を含めて行っていきます。

と思いますので、こちらについては、今後検討していきたいというふうに思います。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、2モニターの意見交換会についてということで、モニターからの意見と議会の考えと対応ということで今、古い状況になります令和5年10月16日、17日を上げさせていただいております。こちらについて御意見はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では次、モニターからの意見、令和6年1月17日、18日、19日のところですが、議会の考えと対応を含めて、5項目について記載させていただいてますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）1番については、ユーチューブのタグの関係は、この前言われましたように確認をし、委託料の単価が倍になることから、研究していきたいという回答をさせていただきたいと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）あと、本日、追加させていただきました市議会モニター意見交換会の報告書で、各担当議員のほうで確認をして意見交換会の報告書を4月24日、25日をそれぞれまとめさせていただいた状況になりますが、こちらの報告書のほうでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

白井健一郎委員 特定の箇所じゃないんですけど、私は実はまだ広聴特別委員会に入ってから、このモニターとの意見交換会に前回対応するはずだったんですけど、出席される予定の方が欠席になったので対応していません。これは意見交換会なので、ただ聞くだけじゃなくて、こちらからも意見を言うということになりますよね。そうなったとき、議員間の意見のそごとか、それから「この答えで本当によかったんだろうか」という疑問は当然後から出てくるとは思うんです。それは、ある程度許容してもらわないと、その場で意見は言えないと思うんですよね。意見交換できない、聞くだけで精いっぱいとか無難な答えに終わってしまう。それよりも、私としては、どんどん積極的に答えたいという自分の思いがあります。だから、後で果たして適切だったんだろうかっていうチェックは必要ですけども、あまり厳密な答えを要求して萎縮するよりも、自由に発言させてほしいっていう要望があります。

宮本政志委員 それは、白井委員が言われたことは駄目で正しいことを返すべきです。間違ったこと言っちゃいけないので、その件は次のモニターの意見交換の前に、どういうふうにやっていくかってことで委員会で議論していきましょうよね。

白井健一郎委員 了解です。

森山喜久委員長 それでこちらの4月24日、25日のモニターの意見交換会の報告書はよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）こちらのほうからまた抽出した分は、提示をさせていただきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。では、2の議会モニターについては以上、よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）

奥良秀委員 議会モニターとの意見交換会を、16日、17日、18日でやる予定になってるとは思うんですが、出席の進捗はどのようになっているでしょうか、教えてください。

森山喜久委員長 今、連絡している最中なのでまだ集約できておりません。またこちらは、分かり次第皆さん方のほうにLINEワークスを含めて、提示をさせていただきたいと思います。

奥良秀委員 ということは、取りあえず3日間でやる予定で、空けておかないといけないってことですかね。

森山喜久委員長 その中のいずれかという話もあるし、あとプラスアルファのところも可能性としてもありますが、最低限、委員長と副委員長は出ますので、その中で、各委員は協力できるところは参加していただきたいと思います。では、2の議会モニターについてはよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）3、その他は何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして広聴特別委員会を散会いたします。

お疲れさまでした。

午後 4 時 1 2 分 散会

令和 6 年（2024 年） 6 月 2 1 日

広聴特別委員長 森 山 喜 久